

令和5年中の姫路市の人口の動き

姫路市デジタル戦略本部デジタル戦略室統計解析室

1. はじめに

本書は、令和5（2023）年中の姫路市の人口の動きをまとめたもので、人口動態は、住民基本台帳法に基づく出生・死亡・転入・転出の届出を集計したものである。本文において出てくる人口増減数は〔自然増減数+社会増減数〕、自然増減数は〔出生数-死亡数〕、社会増減数は〔転入者数-転出者数+その他〕、転入超過数は〔転入者数-転出者数〕、人口動態率等の比率（%）は〔人口千人あたりの比率〕を意味する。平成18年3月27日に合併した4町（家島町、夢前町、香寺町、安富町）については、平成18年3月の数値より含まれている。

2. 人口動態

人口は11年連続で減少し、自然増減は過去25年で最大の減少数となった。

（1）概況

令和5年中の人口動態をみると、人口増減数は△2,575人で、11年連続での減少となった。人口増減を、自然増減と社会増減に分けてみると、自然増減数は△2,743人、社会増減数は168人増加となった。令和5年中の人口減少は、社会増減を大きく上回る自然増減の減少に起因する。

自然増減数を前年と比べると、△2,677人からさらに66人減少した△2,743人となり、13年連続の減少となり、また同時に過去25年において最大の減少数となった。一方、社会増減数については、転入者が転出者より多い転入超過の状況となっており、その他の要因も加味すると前年の259人から91人減少し、168人増加となった。

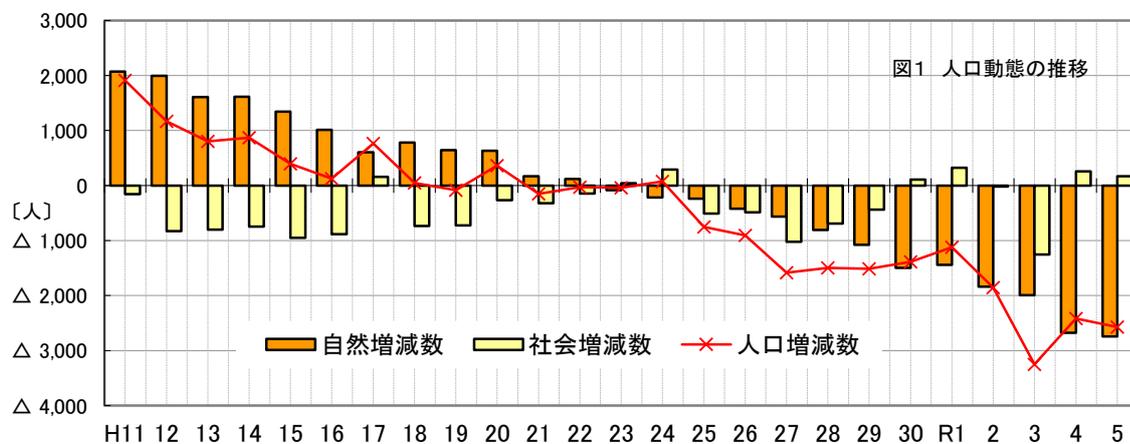


表1 人口動態の推移

(単位：人)

区分	人口増減	自然動態			社会動態			
		自然増減	出生	死亡	社会増減	転入	転出	その他
H11	1,911	2,070	5,575	3,505	△ 159	16,286	16,630	185
12	1,168	1,996	5,663	3,667	△ 828	15,950	16,903	125
13	805	1,607	5,350	3,743	△ 802	16,081	17,066	183
14	870	1,616	5,280	3,664	△ 746	15,852	16,636	38
15	396	1,345	5,069	3,724	△ 949	15,810	16,859	100
16	126	1,013	4,994	3,981	△ 887	15,410	16,426	129
17	764	606	4,646	4,040	158	15,238	15,206	126
18	47	782	5,220	4,438	△ 735	15,232	16,035	68
19	△ 85	642	5,255	4,613	△ 727	14,654	15,650	269
20	363	631	5,091	4,460	△ 268	14,278	14,895	349
21	△ 152	171	5,055	4,884	△ 323	13,879	14,528	326
22	△ 29	119	4,999	4,880	△ 148	13,608	13,998	242
23	△ 42	△ 85	5,019	5,104	43	14,042	14,154	155
24	75	△ 217	5,023	5,240	292	13,673	13,464	83
25	△ 750	△ 238	4,865	5,103	△ 512	12,945	13,750	293
26	△ 908	△ 423	4,724	5,147	△ 485	12,916	14,037	636
27	△ 1,586	△ 562	4,708	5,270	△ 1,024	13,806	14,814	△ 16
28	△ 1,497	△ 808	4,477	5,285	△ 689	13,008	14,071	374
29	△ 1,512	△ 1,076	4,343	5,419	△ 436	14,175	14,532	△ 79
30	△ 1,387	△ 1,496	4,192	5,688	109	14,449	14,236	△ 104
R1	△ 1,119	△ 1,443	4,087	5,530	324	15,250	14,845	△ 81
2	△ 1,855	△ 1,838	3,948	5,786	△ 17	14,532	14,500	△ 49
3	△ 3,250	△ 1,994	3,924	5,918	△ 1,256	13,466	14,683	△ 39
4	△ 2,418	△ 2,677	3,645	6,322	259	15,581	15,286	△ 36
5	△ 2,575	△ 2,743	3,573	6,316	168	15,232	15,057	△ 7

注）外国人を含む。

(2) 男女別人口動態の推移

男女ともに自然減、社会増となった。

男女別の人口動態をみると、令和5年中の人口増減数は、男性が△1,410人、女性が△1,165人で、前年の男性△1,083人、女性△1,335人から男性が327人減少し、女性が170人増加した。また、自然増減、社会増減数別にみると、自然増減数は男性が△1,483人、女性が△1,260人で、前年の男性△1,340人、女性△1,337人から男性は143人減少し、女性は77人増加した。また、社会増減数は男性が73人、女性が95人で、前年の男性257人、女性2人から男性が184人減少し、女性が93人増加となった。

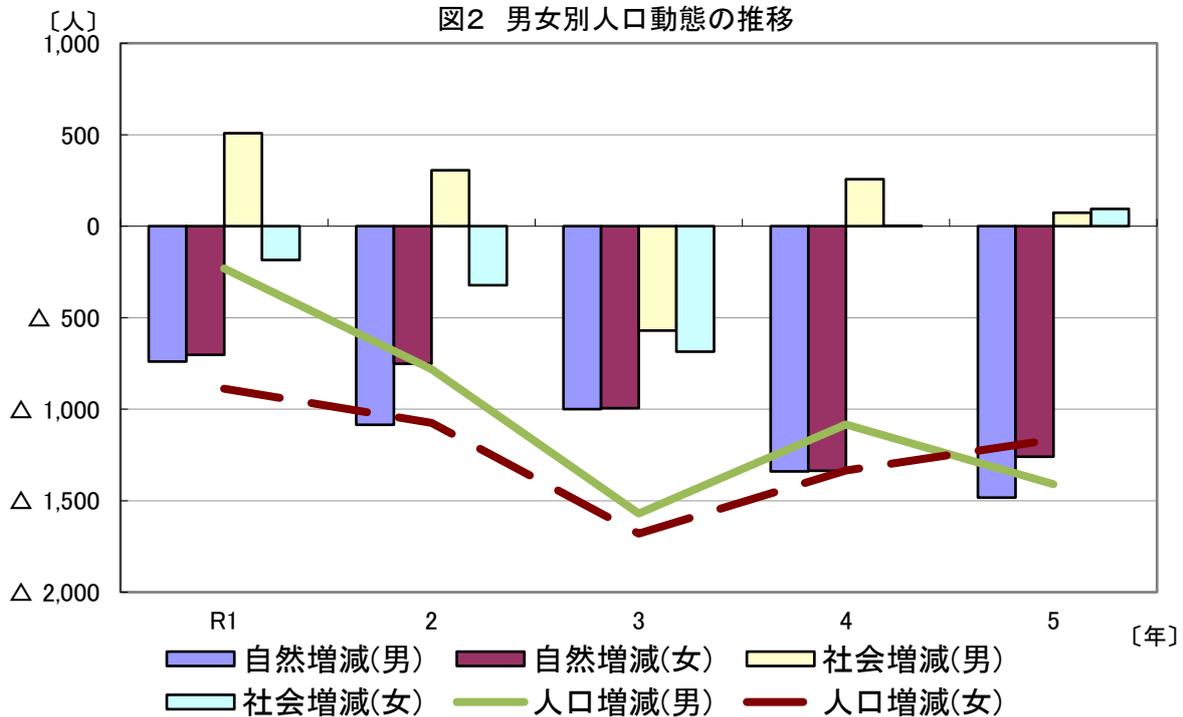


表2 男女別人口動態の推移

(単位：人)

区分	人口増減	自然動態			社会動態				
		自然増減	出生	死亡	社会増減	転入	転出	その他	
総数	R1	△ 1,119	△ 1,443	4,087	5,530	324	15,250	14,845	△ 81
	2	△ 1,855	△ 1,838	3,948	5,786	△ 17	14,532	14,500	△ 49
	3	△ 3,250	△ 1,994	3,924	5,918	△ 1,256	13,466	14,683	△ 39
	4	△ 2,418	△ 2,677	3,645	6,322	259	15,581	15,286	△ 36
	5	△ 2,575	△ 2,743	3,573	6,316	168	15,232	15,057	△ 7
男	R1	△ 231	△ 740	2,093	2,833	509	8,449	7,898	△ 42
	2	△ 781	△ 1,086	1,971	3,057	305	8,208	7,935	32
	3	△ 1,570	△ 1,000	2,025	3,025	△ 570	7,551	8,121	0
	4	△ 1,083	△ 1,340	1,907	3,247	257	8,665	8,401	△ 7
	5	△ 1,410	△ 1,483	1,832	3,315	73	8,429	8,365	9
女	R1	△ 888	△ 703	1,994	2,697	△ 185	6,801	6,947	△ 39
	2	△ 1,074	△ 752	1,977	2,729	△ 322	6,324	6,565	△ 81
	3	△ 1,680	△ 994	1,899	2,893	△ 686	5,915	6,562	△ 39
	4	△ 1,335	△ 1,337	1,738	3,075	2	6,916	6,885	△ 29
	5	△ 1,165	△ 1,260	1,741	3,001	95	6,803	6,692	△ 16

注) 外国人を含む。

(3) 月別人口動態の推移

人口増減数は3月に最も減少し、全ての月で減少となった。

令和5年中の月別の人口動態をみると、全ての月で減少となった。その中でも減少数が最大となったのは3月の△794人であった。また、自然動態、社会動態別にみると、自然増減数は全ての月で減少となった。一方、社会増減数は、3月、7月で減少となり、それ以外の月では増加となった。

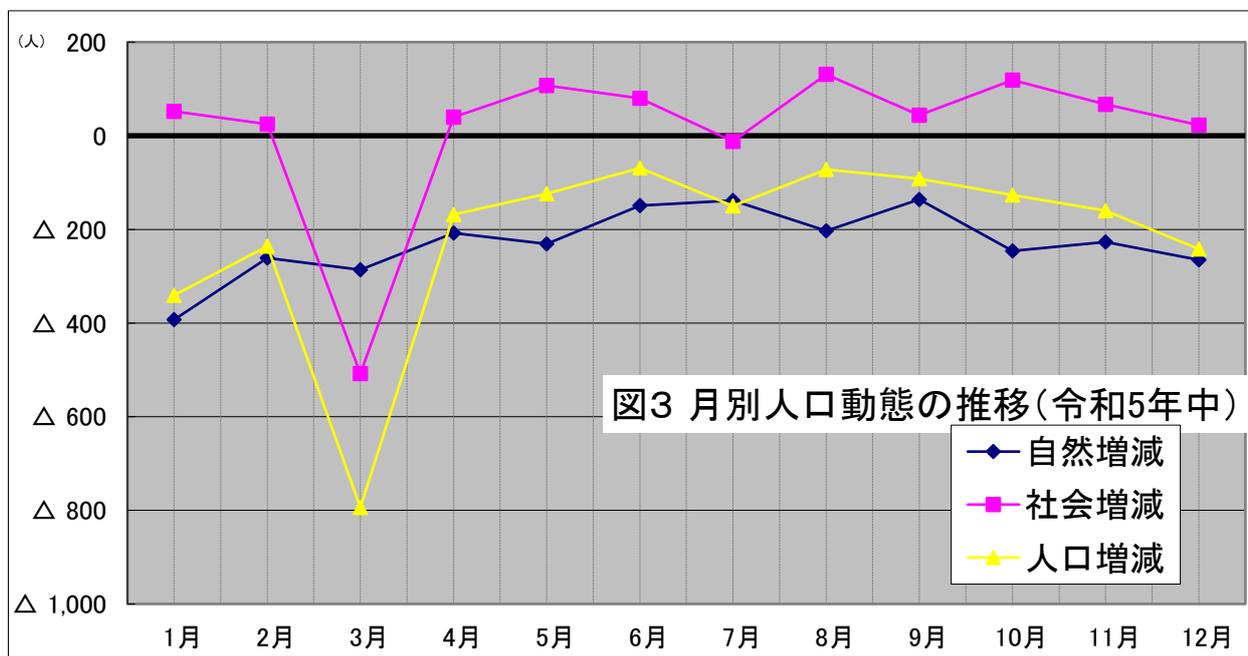


表3 月別人口動態の推移 (令和5年中)

(単位: 人)

区 分	人口増減	自 然 動 態			社 会 動 態			
		自然増減	出 生	死 亡	社会増減	転 入	転 出	その他
令和5年総数	△ 2,575	△ 2,743	3,573	6,316	168	15,232	15,057	△ 7
1月	△ 341	△ 393	344	737	52	997	949	4
2月	△ 236	△ 261	259	520	25	1,055	1,030	0
3月	△ 794	△ 286	293	579	△ 508	2,689	3,202	5
4月	△ 168	△ 208	273	481	40	1,885	1,848	3
5月	△ 124	△ 231	326	557	107	1,219	1,104	△ 8
6月	△ 69	△ 149	269	418	80	1,072	994	2
7月	△ 150	△ 138	328	466	△ 12	1,040	1,058	6
8月	△ 72	△ 203	314	517	131	1,149	1,019	1
9月	△ 92	△ 136	320	456	44	1,081	1,036	△ 1
10月	△ 127	△ 246	291	537	119	1,154	1,020	△ 15
11月	△ 160	△ 227	290	517	67	950	879	△ 4
12月	△ 242	△ 265	266	531	23	941	918	0

注) 外国人を含む。

3. 自然動態

(1) 概況

自然増減数は13年連続でマイナスとなり、過去25年において最大の減少数となった。

令和5年中の自然動態をみると、自然増減数は△2,743人で、前年の△2,677人から66人減少した。このため、自然増減率は△5.25‰となり、前年の△5.10‰と比べ、0.15ポイント低下し、自然増減数、自然増減率ともに前年と比べて減少となった。また、出生、死亡別にみると、令和5年中の出生数は3,573人で、前年の3,645人から72人減少し、11年連続で前年を下回った。

出生率は6.84‰となり、前年の6.94‰から0.1ポイント低下した。また、死亡数は6,316人で前年に引き続き6,000人超となり、前年の6,322人からは6人減少したが、死亡率は12.09‰となり、前年の12.04‰と比べ、0.05ポイント上昇した。

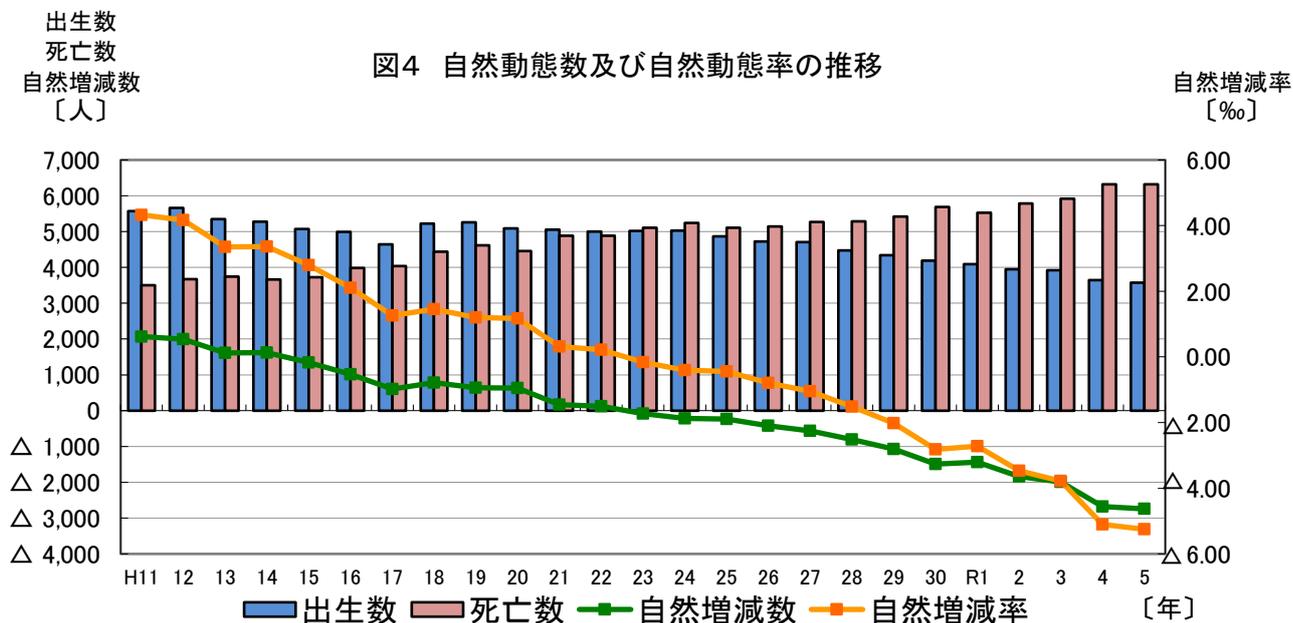


表4 自然動態数及び自然動態率の推移

(単位：人，‰)

区分	自然増減数	出生数	死亡数	自然増減率	出生率	死亡率	人口 (10月1日現在)
H11	2,070	5,575	3,505	4.33	11.65	7.33	478,433
※ 12	1,996	5,663	3,667	4.17	11.84	7.67	478,309
13	1,607	5,350	3,743	3.35	11.16	7.81	479,431
14	1,616	5,280	3,664	3.37	11.00	7.63	480,147
15	1,345	5,069	3,724	2.80	10.55	7.75	480,684
16	1,013	4,994	3,981	2.11	10.38	8.28	481,011
※ 17	606	4,646	4,040	1.26	9.63	8.38	482,304
18	782	5,220	4,438	1.46	9.74	8.28	536,067
19	642	5,255	4,613	1.20	9.80	8.60	536,256
20	631	5,091	4,460	1.18	9.49	8.31	536,502
21	171	5,055	4,884	0.32	9.42	9.10	536,447
※ 22	119	4,999	4,880	0.22	9.32	9.10	536,270
23	△ 85	5,019	5,104	△ 0.16	9.36	9.52	536,370
24	△ 217	5,023	5,240	△ 0.40	9.37	9.77	536,300
25	△ 238	4,865	5,103	△ 0.44	9.08	9.52	535,783
26	△ 423	4,724	5,147	△ 0.79	8.83	9.62	534,794
※ 27	△ 562	4,708	5,270	△ 1.05	8.79	9.84	535,664
28	△ 808	4,477	5,285	△ 1.51	8.38	9.89	534,452
29	△ 1,076	4,343	5,419	△ 2.02	8.15	10.17	532,994
30	△ 1,496	4,192	5,688	△ 2.82	7.89	10.71	531,298
R1	△ 1,443	4,087	5,530	△ 2.72	7.71	10.43	530,363
※ 2	△ 1,838	3,948	5,786	△ 3.46	7.44	10.91	530,495
3	△ 1,994	3,924	5,918	△ 3.78	7.44	11.22	527,409
4	△ 2,677	3,645	6,322	△ 5.10	6.94	12.04	525,044
5	△ 2,743	3,573	6,316	△ 5.25	6.84	12.09	522,328

注) ※の人口は国勢調査結果における人口、それ以外は推計人口。
外国人を含む。

(2) 出生率及び死亡率の推移

出生率は過去25年間で最低となり、死亡率は過去25年間で最高となった。

出生率の推移をみると、姫路市の出生率は6.84%で過去25年間で最低となり、全国の出生率と比べると、過去25年間、全国の数値を上回っており、平成10年には最大の2.68ポイント上回ったが、近年では、姫路市の出生率の低下傾向が大きくなり、令和5年は、その差が0.99ポイントと全国の出生率に近づいてきている。一方、死亡率をみると、姫路市では、令和5年は12.09%となり、前年の12.04%と比べ、わずかに上昇した。過去25年間では多少の増減がありつつも増加傾向をたどっている。また、全国の死亡率と比べると、近年、姫路市は全国より0.5ポイントほど低い傾向がみられる。

図5 出生率及び死亡率の推移(姫路市、全国)

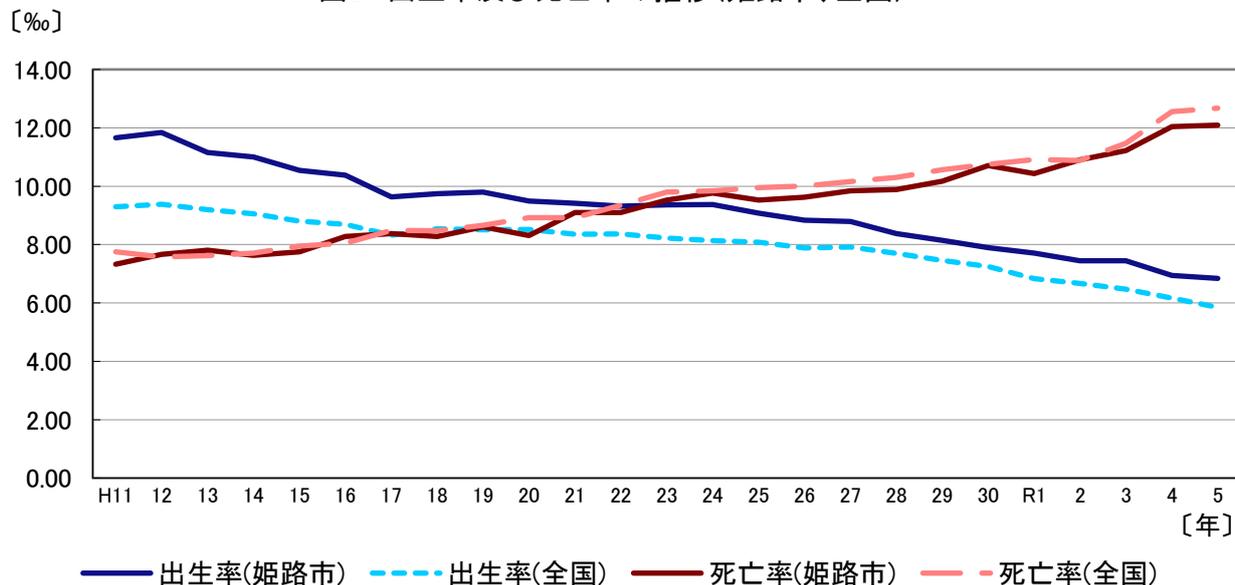


表5 出生率及び死亡率の推移(姫路市、全国)

(単位: ‰)

区 分	出 生 率		死 亡 率	
	姫路市	全 国	姫路市	全 国
H11	11.65	9.30	7.33	7.75
12	11.84	9.38	7.67	7.58
13	11.16	9.19	7.81	7.62
14	11.00	9.05	7.63	7.71
15	10.55	8.80	7.75	7.95
16	10.38	8.69	8.28	8.05
17	9.63	8.32	8.38	8.48
18	9.74	8.54	8.28	8.48
19	9.80	8.51	8.60	8.66
20	9.49	8.52	8.31	8.92
21	9.42	8.36	9.10	8.92
22	9.32	8.37	9.10	9.35
23	9.36	8.22	9.52	9.80
24	9.37	8.13	9.77	9.85
25	9.08	8.08	9.52	9.96
26	8.83	7.89	9.62	10.01
27	8.79	7.91	9.84	10.15
28	8.38	7.69	9.89	10.30
29	8.15	7.45	10.17	10.56
30	7.89	7.25	10.71	10.75
R1	7.71	6.84	10.43	10.91
2	7.44	6.67	10.91	10.88
3	7.44	6.47	11.22	11.47
4	6.94	6.17	12.04	12.56
5	6.84	5.85	12.09	12.67

注) 姫路市の数値には外国人を含む。

令和5年の全国の数値は人口動態調査(概数)より算出。

4. 社会動態

(1) 概況

転入超過数・超過率ともに2年連続でプラスとなった。

令和5年中の社会動態をみると、転入超過数は175人で、前年の295人から120人減少した。このため、転入超過率は0.34%となり、前年の0.56%と比べ、0.22ポイント減少したものの、2年連続でのプラスとなった。また、転入、転出別にみると、令和5年中の転入者数は15,232人で、前年の15,581人から349人減少した。このため、転入率は29.16%となり、前年の29.68%と比べ、0.52ポイント減少した。また、転出者数は15,057人で、前年の15,286人と比べ、229人減少した。このため、転出率は28.83%で、前年の29.11%と比べ、0.28ポイント減少した。

図6 転入・転出者数の推移

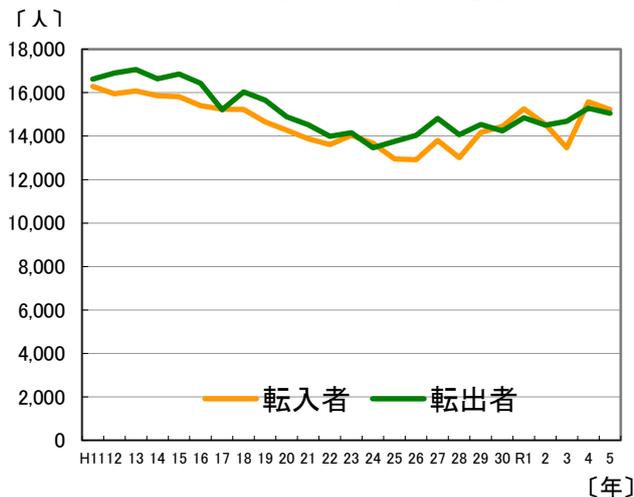


図7 転入超過率の推移

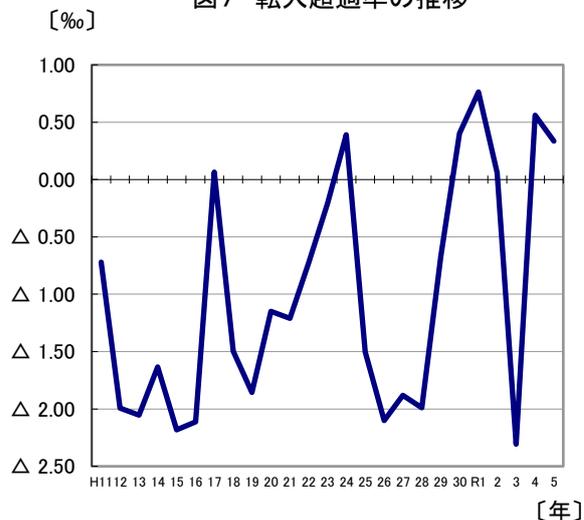


表6 社会動態数及び社会動態率の推移

(単位：人，‰)

区分	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過率	転入率	転出率	人口 (10月1日現在)
H11	△ 344	16,286	16,630	△0.72	34.04	34.76	478,433
※ 12	△ 953	15,950	16,903	△1.99	33.35	35.34	478,309
13	△ 985	16,081	17,066	△2.05	33.54	35.60	479,431
14	△ 784	15,852	16,636	△1.63	33.01	34.65	480,147
15	△ 1,049	15,810	16,859	△2.18	32.89	35.07	480,684
16	△ 1,016	15,410	16,426	△2.11	32.04	34.15	481,011
※ 17	32	15,238	15,206	0.07	31.59	31.53	482,304
18	△ 803	15,232	16,035	△1.50	28.41	29.91	536,067
19	△ 996	14,654	15,650	△1.86	27.33	29.18	536,256
20	△ 617	14,278	14,895	△1.15	26.61	27.76	536,502
21	△ 649	13,879	14,528	△1.21	25.87	27.08	536,447
※ 22	△ 390	13,608	13,998	△0.73	25.38	26.10	536,270
23	△ 112	14,042	14,154	△0.21	26.18	26.39	536,370
24	209	13,673	13,464	0.39	25.50	25.11	536,300
25	△ 805	12,945	13,750	△1.50	24.16	25.66	535,783
26	△ 1,121	12,916	14,037	△2.10	24.15	26.25	534,794
※ 27	△ 1,008	13,806	14,814	△1.88	25.77	27.65	535,664
28	△ 1,063	13,008	14,071	△1.99	24.34	26.33	534,452
29	△ 357	14,175	14,532	△0.67	26.60	27.26	532,994
30	213	14,449	14,236	0.40	27.20	26.79	531,298
R1	405	15,250	14,845	0.76	28.75	27.99	530,363
※ 2	32	14,532	14,500	0.06	27.39	27.33	530,495
3	△ 1,217	13,466	14,683	△2.31	25.53	27.84	527,409
4	295	15,581	15,286	0.56	29.68	29.11	525,044
5	175	15,232	15,057	0.34	29.16	28.83	522,328

注) ※の人口は国勢調査結果における人口、それ以外は推計人口。
外国人を含む。

(2) 県内地域別転入・転出者数の推移

県内の転入超過数は5年ぶりのプラスとなり、前年と比べて県内からの転入者数は増加し、転出者数は減少した。

県内の社会動態をみると、令和5年中の転入超過数は31人で、前年の△154人から、185人増加した。地域別にみると、西播磨地域の292人、中播磨地域の97人など5つの地域で転入超過数がプラスであったのに対し、神戸地域の△317人、阪神南地域の△148人など3つの地域ではマイナスであった。また、転入、転出者数別にみると、令和5年中の転入者数は6,097人で、前年の6,067人と比べ、30人増加した。地域別にみると、東播磨地域からの1,656人が最も多く、次いで西播磨地域からの1,448人、神戸地域からの1,127人となった。また、転出者数は6,066人で、前年の6,221人と比べ、155人減少した。地域別にみると、東播磨地域への1,739人が最も多く、次いで神戸地域への1,444人、西播磨地域への1,156人となった。

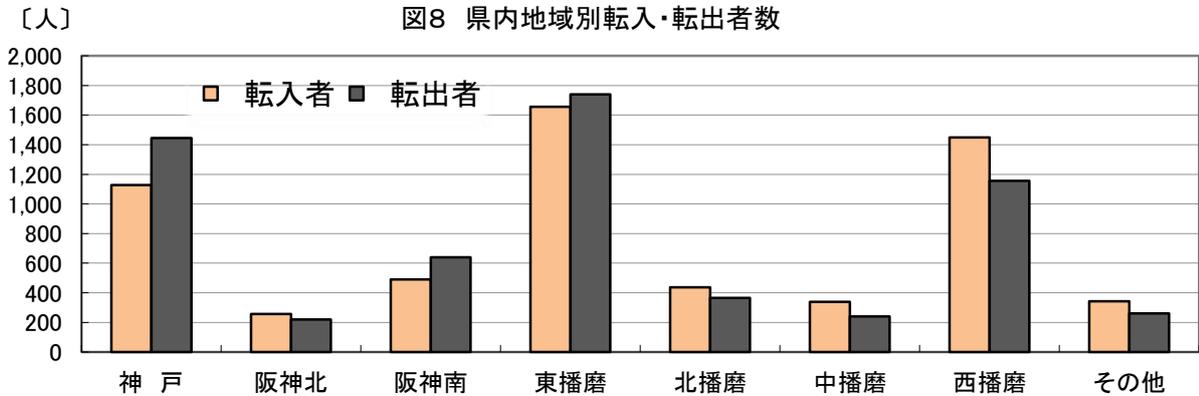


表7 県内地域別転入・転出者数の推移

区分	総数	神戸	阪神北	阪神南	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	その他	
		転入超過数								
R1	△ 48	△ 291	△ 26	△ 172	△ 230	78	86	402	105	
2	△ 3	△ 231	△ 21	△ 134	△ 228	116	114	325	56	
3	△ 5	△ 312	55	△ 110	△ 94	△ 26	107	319	56	
4	△ 154	△ 347	30	△ 86	△ 110	18	79	169	93	
5	31	△ 317	37	△ 148	△ 83	71	97	292	82	
		転入者数								
R1	5,942	993	242	433	1,529	411	379	1,627	328	
2	6,270	1,194	249	486	1,599	445	358	1,641	298	
3	5,982	1,050	296	488	1,588	363	361	1,544	292	
4	6,067	1,160	256	534	1,535	453	356	1,441	332	
5	6,097	1,127	257	491	1,656	437	338	1,448	343	
		転出者数								
R1	5,990	1,284	268	605	1,759	333	293	1,225	223	
2	6,273	1,425	270	620	1,827	329	244	1,316	242	
3	5,987	1,362	241	598	1,682	389	254	1,225	236	
4	6,221	1,507	226	620	1,645	435	277	1,272	239	
5	6,066	1,444	220	639	1,739	366	241	1,156	261	

注) 外国人を含む。

合併があった市町については、合併期日以前は旧市町地域で、合併期日以後は新市町地域で計上している。

〔地域区分〕

神戸地域：神戸市

阪神北地域：伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町

阪神南地域：尼崎市、西宮市、芦屋市

東播磨地域：明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

北播磨地域：西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町

中播磨地域：市川町、福崎町、神河町

西播磨地域：相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、太子町、上郡町、佐用町

その他の地域：豊岡市、丹波篠山市、丹波市、洲本市、淡路市、南あわじ市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町

(3) 県外地域別転入・転出者数の推移

県外の転入超過数は2年連続のプラスとなり、前年と比べて転入者数、転出者数ともに減少した。

県外の社会動態をみると、令和5年中の転入超過数は144人で、前年の449人と比べ、305人減少した。地域別にみると、国外・その他の971人と、中国・四国地方の314人など3つの地域で転入超過数がプラスとなった一方で、近畿地方の△575人、関東地方の△536人など4つの地域で転入超過数がマイナスとなった。また、転入、転出者数別にみると、令和5年中の転入者数は9,135人で、前年の9,514人と比べ、379人減少した。地域別にみると、近畿地方からの2,405人が最も多く、次いで国外・その他からの2,019人、中国・四国地方からの1,488人となった。また、転出者数は8,991人で、前年の9,065人と比べ、74人減少した。地域別にみると、近畿地方への2,980人が最も多く、次いで関東地方への1,909人、中国・四国地方への1,174人となった。

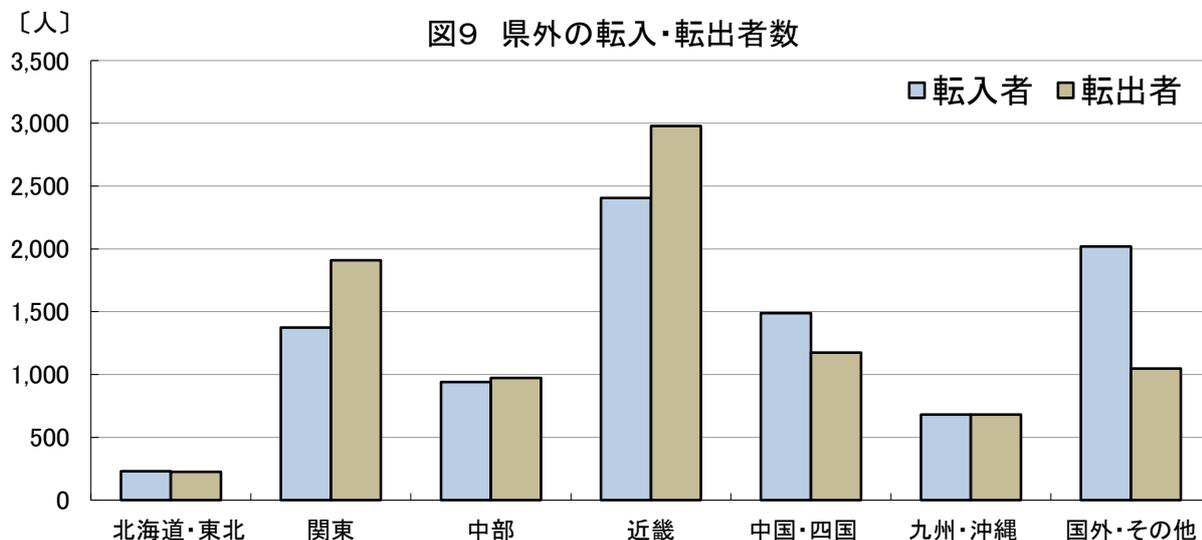


表8 県外地域別転入・転出者数の推移

区分	総数	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	国外・その他
転入超過数								
R1	△ 331	18	△ 549	86	△ 416	335	207	△ 12
2	35	△ 19	△ 461	121	△ 510	270	82	552
3	△ 1,211	△ 41	△ 732	△ 75	△ 553	152	41	△ 3
4	449	38	△ 511	28	△ 596	262	53	1,175
5	144	4	△ 536	△ 32	△ 575	314	△ 2	971
転入者数								
R1	7,289	222	1,229	941	2,209	1,401	734	553
2	8,262	226	1,328	1001	2,365	1,483	699	1160
3	7,484	235	1,271	864	2,427	1,455	664	568
4	9,514	261	1,424	942	2,513	1,535	692	2147
5	9,135	230	1,373	940	2,405	1,488	680	2019
転出者数								
R1	7,620	204	1,778	855	2,625	1,066	527	565
2	8,227	245	1,789	880	2,875	1,213	617	608
3	8,695	276	2,003	939	2,980	1,303	623	571
4	9,065	223	1,935	914	3,109	1,273	639	972
5	8,991	226	1,909	972	2,980	1,174	682	1048

注) 外国人を含む。

[地方区分]

北海道・東北地方：北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県

関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿地方：滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県

中国・四国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県